

## 1015 “不具合”の要因の抽出と改善

企業経営に携わっていたり、企業内のマネージメントで「どうして巧く行かないのか?」、「何が欠けているのか?」、「客先とのイメージが合わない、信頼関係ができない」等で悩まれていることはありませんか?  
課題は「品質」、「コスト」、「稼働率」(迅速性、時間)の取り扱いのマネージメント上のアンバランスで発生しています。  
[マネージメントの数量化手法;“QAMM”](菱沼技術士事務所開発)適用して貴社のマネージメントの課題解決を支援します。

### 【講座内容】

- I. どうして従来の改善手法では満足な改善効果が得られないのか?
- II. マネージメントを数量化管理するとどうなるか
  1. [マネージメントの数量化手法;“QAMM”]の概要
  2. 数量化=透明化
- III. “不具合”の根本要素の設定
  1. 「品質」、「コスト」、「稼働率」を“不具合”の3大要因として取り扱う
  2. 3要素の取り扱いのアンバランスをマネージメントの課題と捉える。
- IV. “不具合”の定義と収集/解析
  1. “邪心”を拝して“困っている”ことを複数の人が別の見方で提出する。  
「1事項」に4つ以上の“不具合”意見を抽出する。
  2. “不具合”を「設備起因」、「人手起因」、「分類不明」に分ける
  3. “不具合”の個別仕分けと行程特性診断
- V. “QAMM”のツール
  1. “不具合”抽出
  2. “不具合”分類、解析、重点思考、投資効果の推定
  3. “発生源解析”
  4. “複合起因解析”
  5. “発生確率防御設計”
  6. 1%理論
  7. 発生源撲滅設計法
  8. “全数確認技術”
- VI. “QAMM”の実践フロー
- VII. “QAMM”実施事例
  - ・高速包装ラインの無人化
  - ・包装ラインの介添え不要化
  - ・印刷工場のリードタイムの短縮化
  - ・商事会社の不採算理由の究明
  - ・誤出荷原因の究明
  - ・ヒートシール“不具合”の原因究明と改善

### [コンサルティング]

1. 諸種の包装問題に対する探索・調査
  2. 問題点に対する原因並びに解析
  3. 問題点解決の対策立案並びに改善策
  4. 実施計画の立案並びに実施スケジュールリング
  5. 実施結果のまとめおよび助言
  6. 効果の確認およびチェックシートの作成
  7. 標準化の実施
- その他いろいろな技術指導なども行なっております。

お問合わせ先

日本包装コンサルタント協会(JPCA) 講座担当(菱沼)FAX;044-599-8085

E-mail; rxp10620@nifty.ne.jp